

私立大学情報教育協会
平成28年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

F班3グループ

発表テーマ

One Up!!

～主体性を持った社会人になるために～

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割

- ・グローバル化に対応する
- ・地域貢献
- ・人材育成
 - 質の高いサービスの提供
- ・研究と成果の発信

役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

- ・社会で活躍できる学生の輩出

テーマ選定理由(2) 大学の現状

- ・大学の現状はどうだろうか？

主体性をもって行動することができる学生とできない学生がいる

主体性をもって行動できない学生

- ・目標がない学生
- ・自分を知らない学生

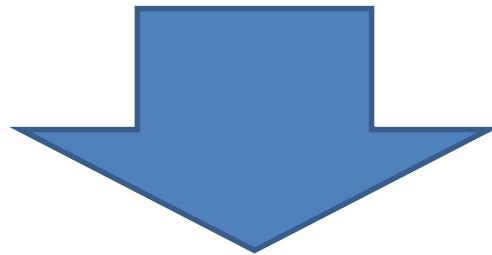
- ・役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

主体性をもった行動ができない学生のサポート

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

目標がない学生や、自分を知らない学生の後押し



One Up !!

問題点の深堀

- ・社会の要望に応えるためにも、主体性を持った人材を育成する必要がある
- ・現状、主体性を持って行動できる学生とできない学生がいる
 - できない学生は目標がなかったり、自分を知らない
- ・目標がない、自分を知らない学生の傾向
 - 自分に自信がない
 - 会話のキャッチボールができない
- ・うまく話せない学生に対し、授業などでICTの活用は一時的な処置としては有効
例) Twitterを授業で利用
 - ただし、根本的な解決にはならない
- ・根本的に解決するため、まずは大学に学生の居場所を作ってあげる
 - 話し相手を確認する！

解決策の検討

- ・大学としての取り組み
目標がない学生、自分を知らない学生をサポートする
- ・教員への働きかけ
教員に意識を変えてもらう、メンタルケアの講習を受講する
- ・職員の役割
 - a) サポートセンターの設置
 - b) 共同体験型の授業(職員も参加する)
 - c) 職員の意識改革
 - d) 情報の配信
- ・解決策実現のためのハードルと、その打開策
教員の理解
対策: 教員の言い分を聞く、対策が必要となる根拠を提示し明確化

大学のイノベーションの提案

・提案の概要

主体性がない学生のサポート

・何を問題として捉えたか

主体性がない学生は目標がない、自分を知らない⇨退学者

・問題を解決する方法として何を提案するのか

目標がない、自分を知らない学生のサポート、メンタルケア

・これを実現するために、どのようなアプローチが必要か。

a) サポートセンターの設置(学生、職員、教員の相談室)

→なんでもサポートセンター

b) 協同体験型の授業(課外授業、ボランティア等)の必修

・解決されたときの姿(どのような状況になれば目的が達成されたといえるのか?)

a) 退学者が前年度に比べて減少

b) 学生アンケートによる実態調査

c) 大学生活の満足度

大学のイノベーションの提案

One Up の為のPDCA

